

トラック・重機の正しい査定・確かな金額

第24回そうだったのか!シグマの学べるニュース

お客様 各位

この定期配信も御客様にとても御好評を頂きましてありがとうございます。これからもみなさんのお 役に立つ様にみなさんの疑問を解決し、有効な情報をお送りして行きたいと思います。

Q: ミャンマー向けトラックの最新価格情報を知りたい!

シグマ回答:

ミャンマー向けの輸出トラックですが、

4月から2006年製造以降(H18年式)の車輌でないと輸入出来なくなります。

2005年製造以前の車輌はミャンマーに3月到着分までとなります。

ミャンマー向けは輸入可能な車輌が高年式のため、

国内ユーザーとの海外バイヤーにて金額が競って競合になることもあり、

価格が高額になっています。

あまりに人気のある日産、三菱FUSOの価格が上がってしまったため、 より低価格の車輌として今までは日野という選択肢がありましたが、 最近ではいすずも候補になるようになってきています。

今後いすずの4軸低床やトラクターヘッドも今後買いが増える可能性があり、 国内の運送会社様にとってもこれまで高年式で過走行の車両を安価にて 売却していた事もあるかと思いますが、海外は国内よりは距離を 気にしないので売却価格にメリットが出てくるかもしれません。 現状のミャンマーのルールでは10年落ちまでの車両で無いと扱い出来ません。 今後も変更がない限り現状の10年ルールは続いていくと思われます。 2018年度までは右ハンドル輸入継続可能の見込みです。右ハンドルが輸出できなく なると、タイなどでハンドルを左右で交換してミャンマーに入れる事になります。 現在でもラオス向けなどは既にこの方法にて運用しております。

本日の回答者:西日本支店 藤原慎也マネージャー

経歴: あらゆる職種で営業を経験しジートレーディング

に入社後、シグマに入社。

シグマの元気印で顧客からの評判も上々

好きな物:車、スノーボード お問い合わせ、ご質問は以下まで

シグマインタナショナル株式会社

住所:神奈川県横浜市中区海岸通り3-9横浜ビル4F

TEL: 045-680-1742 FAX: 045-228-8490

e-mail: info@sigmaintl.jp

